

2020年3月16日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

## 日興アセット、初のサステナビリティレポートを発行

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、このたび、2019年度におけるサステナビリティ活動をまとめた報告書「[2019 サステナビリティレポート](#)」を発行しました。本レポートでは、グローバルな資産運用会社として、環境(Environment)・社会(Society)・ガバナンス(Governance)(以下、ESG)に配慮した日興アセットのさまざまな取り組みについて紹介しています。具体的には、日興アセットの経営理念の最高位に位置付けるフィデューシャリー・ESG原則に沿った運用プロセスや投資家の皆さまの利益の最大化を図る商品開発、コーポレート・ガバナンス体制の更なる強化に向けた取り組み、ダイバーシティ&インクルージョン、環境、気候などさまざまなワーキンググループの活動などについてお伝えしています。

日興アセットは、1999年に日本初の社会的責任投資(SRI)ファンドの運用を開始して以来20年間にわたり、ESG要素を中長期的に安定した超過収益の獲得につなげることを追求してきました。また、エンゲージメント(対話)を通じて投資先企業におけるESGを評価するとともに、弊社自らの企業活動におけるサステナビリティへのコミットメントを強化すべく、2018年9月にコーポレート・サステナビリティ部を新設しました。サステナビリティへの注力は長期的なものであり、お客様や従業員、ひいては社会全体の利益に資する取り組みを継続的に行なっています。

日興アセット代表取締役社長兼共同CEOの安倍秀雄は、「日興アセットのサステナビリティ活動を推進することによって、お客様はもとより、従業員、地域社会、環境が長く共栄していくために、効果的かつ有意義な変化をもたらすことができると確信しています。弊社では、持続的な収益を生み出す投資先企業を選定し、ガバナンス向上を求めるにあたり、自らも独立性および透明性の極めて高いガバナンスを追求しています」と述べています。

コーポレート・サステナビリティ部を統括する常務執行役員のステファニー・ドゥルーズは、「日興アセットはサステナビリティ活動を積極的に推進しており、社員一人ひとりが自発的に取り組む企業理念が浸透しています。今後さらに優れた企業市民になるために、持続可能な企業になるべくサステナビリティ活動を継続してまいります」と述べています。

日興アセットは、今後も、投資活動を通じてESGを促進し、企業活動における持続可能性を追求することにより、ステークホルダーの皆様とともに持続可能な未来の実現に向けた取り組みを続けてまいります。「2019サステナビリティレポート」は当社の[ESG運用 & サステナビリティサイト](#)にてご覧いただけます。

<http://sustainability.nikkoam.com/jp>

以上

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名\*の運用プロフェッショナルが約26.8兆円\*\*の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計400社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

\* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

\*\* 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2019年12月末現在のデータ。

### 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会